

令和3年 3月25日

(あて先) 熊本市長

団体名 エコ村伝承館

代表者 職名 代表

氏名 桜井 良明



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

令和2年 4月1日付け指令(地活)第1-9号により、熊本市市民公益活動支援助成金の

交付決定※を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第21条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業  
体験型環境学習活動の熊本市内への更なる展開

2 助成事業の実施期間

令和 2年 4月1日 ~ 令和 3年 3月25日

3 助成事業の内容

過去14年以上、熊本県内での活動をしている中で、熊本市内でのイベント開催をより広く展開し、多くの方に『美しい地球を守る』為に何ができるかを竹などの材料を使って、竹トンボや水鉄砲などを作る「伝承遊びのものづくり」を楽しみながら、環境学習活動を展開しました。

4 事業の成果

事業1

熊本市内の方々からの派遣依頼に応じ、これまでに20回の派遣を実施しました。参加者数が延べ445人、会員派遣が延べ60人、自主活動(竹林の下草刈り)は5回実施し、延べ16人が活動しました。参加された皆さんは、地球環境保全のために自分たちは何をしなければならないかについて考えるヒントを得たばかりではなく、ものづくり体験では、親子(お年寄りと孫も)での触れ合いを含めとても楽しんで頂きました。

事業2

コロナ禍の為、一泊での研修は中止し、日帰り研修とし、新入会員に対し、活動時の注意点の説明、環境学習(パワーポイントによる説明)と、ものづくり体験(マイ竹箸づくり)を行いました。指導者2名、新規入会会員6名で実施し、今後の活動に当たって十分な知識とスキルを身につけました。

## 5 助成事業の実施状況

### (1) 事業収支決算書（様式第16号）

### (2) 事業の経過又は成果を証する書類等

- ・令和2年度 エコ村伝承館 エコロジスト・リーダー派遣実績（熊本市内を抜粋）
- ・令和2年度 エコ村伝承館 実施日別人件費
- ・令和2年度 エコ村伝承館 実施日別交通費
- ・令和2年度 エコ村伝承館 出納簿（支出項目別）

### (3) その他参考となる資料

- ・エコ村伝承館 2020年度活動状況（全実施イベント）
- ・くまもとわくわく基金助成対象イベントの交通費確認 Mapfan で検索

事業収支決算書

◆収入決算

項目	金額	内訳
会費	0	
当該事業による収益	70,000	材料費の徴収 ※材料費は100~200円/人
当該事業に対する寄附・協賛金	0	
その他の自己資金	6,640	会費、受託金の一部より充当
当該事業に対する助成金額	92,270	
その他の補助金、助成金等【D】	0	
合計	168,910	

◆支出決算(事業別)

事業名 支出費目	事業1	事業2	事業3	合計
	依頼イベントへの参加	エコ村伝承館会員への指導者教育		
人件費	67,000	4,000		71,000
報償費	0	0		0
旅費	32,800	11,160		43,960
人件費等合計【A】	99,800	15,160		114,960
役務費	9,308	0		9,308
使用料・賃借料	0	0		0
事務・消耗品費	42,833	1809		44,642
委託費	0	0		0
合計	151,941	16,969		168,910

助成申請上限額 (助成種別：ステップアップ助成)

$$〔事業費 168,910 - 控除額【E】 30,505〕 \times 2/3 = 92,270$$

※控除額…超過人件費(人件費等の合計が事業費の1/2を超えた部分)とその他助成金の合計

人件費等の合計【A】	114,960	}	超過人件費【C】※	30,505
事業費の1/2【B】	84,455		その他助成金【D】	0
超過人件費【A-B】…【C】	30,505		控除額【E】	30,505

※マイナスの場合は0円

◆支出内訳（事業別）

事業1〔 依頼イベントへの参加（リピート対応と西、南区の新規開拓を含む） 〕

人件費	1000 円/半日の活動費×33 回=33000 円 2000 円/全日の活動費×17 回=34000 円
報償費	0
旅費	スタッフの自宅からイベント会場までの交通費（別表添付） 旅費合計 32,800 円
役務費	会員その他への資料送付など（別表添付） 役務費合計 9,308 円
使用料・賃借料	0
事務・消耗品費	学習指導、竹細工の作業に必要な工具を購入 ものづくり体験で作るものの各材料を購入（別紙参照） 今年度は新型コロナ対応のアルコールなども購入 事務・消耗品費合計 42,833 円
委託費	0

事業2〔 エコ村伝承館会員への指導者教育（スキルの向上とノウハウの継承） 〕

人件費	研修指導費 2,000 円×2 名=4000 円（今年度は1回実施）
報償費	0
旅費	研修受講者、講師が研修場所（事務所）までの交通費 旅費合計 11,160 円
役務費	0
使用料・賃借料	0（今年度は日帰り研修としたため）
事務・消耗品費	資料（マニュアルなど）配布などでコピー用紙を購入 事務・消耗品費合計 1,809 円
委託費	0

## 事業報告書

実施年度	令和2(2020)年度
事業名	くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業 体験型環境学習活動の熊本市内への更なる展開
事業期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月25日
事業の目的	私たちが取り組む活動によって、子どもたちが大人になっていく過程において自然や環境を大切にするという気持ちが育まれていき、大きくなってから社会のなかで役に立てることを願っています。
具体的な 事業内容	<p>熊本市内での年間活動20回の中で、中央区10回、北区4回、南区6回で東区、西区はリピート(特別養護老人施設や幼稚園など)が中止されたため0回でした。</p> <p>事業1. 依頼イベントへの参加に当たっては 材料調達(竹の切り出しとカット、ビーズの袋詰めなど)と参加スタッフの募集連絡、当日の移動と指導、活動報告書作成など実施。 ※竹の切り出しに当たっては、放置竹林での高齢な地主様との交渉で、タケノコの伐採、倒れた竹の片づけなども実施しました。</p> <p>① 日時・場所 ・幼稚園・学校などでは2時間で20分程度の環境の座学と体験学習、・公共団体、企業のイベントでは10時～15時(又は16時)まで</p> <p>② 内容(1イベントに複数種類あり) ・竹細工9回 UVビーズストラップ5回 水引ストラップ3回 水てっぽう4回 紙漉き1回 竹馬遊び4回 その他(マスク制作など)3回</p> <p>③ 講師・スタッフ ・エコ村伝承館会員 延べ60人</p> <p>④ 広報 ・熊本県環境センターのHP、会員によるFacebook公開中 ・各イベントでのパンフレット・名刺などの配布と内容説明実施 ⇒パンフレットを見ての問い合わせ、依頼に繋がりました。</p> <p>事業2. 今年度は新型コロナ禍対応の為、一泊研修を取りやめ、日帰りでの研修会を実施。エコ村伝承館新規入会会員への指導者教育(スキルの向上とノウハウの継承)とエコ村伝承館の特長ある、小刀を使ってのマイ竹箸づくりの体験学習を行いました。また、だれでも同じ指導ができるように、マニュアルの作成・配布と、指導に当たっての注意点について説明を行いました。 ※今年度の研修会は1回</p>
実施場所	熊本市内(幼稚園・学校・PTA 関係が2回、学童保育・放課後学級が8回、子ども食堂が2回、マルシェ(自然食品販売会)が7回、熊本市の公的団体が1回
協力団体	熊本県環境センター : 問い合わせ仲介、団体内での講話会での講師派遣など

<p>事業の効果 ・公益性</p>	<p>活動の地域は、熊本市内での年間活動20回の中で、中央区10回、北区4回、南区6回で、コロナ禍の為、特別養護老人施設や幼稚園などで中止された東区、西区以外では偏りもなく、特に 南区での拡がりがありました。</p> <p>依頼団体は、幼稚園・学校・PTA 関係が2回、学童保育・放課後学級が8回、子ども食堂が2回、マルシェ（自然食品販売会）が7回、熊本市の公的団体が1回でコロナ禍での公共施設での中止があり、例年の半分程度での実施となりました。</p> <p>研修会では、コロナ禍の為、一泊での研修は中止し、新入会員を対象に日帰り研修としました。 指導者2名、新規入会会員6名で実施し、今後の活動に当たって十分な知識とスキルを身につけました。</p>
<p>次年度以降の 事業展望</p>	<p>今後も、市内全域にわたって、イベントの開催を促進し、エコ村伝承館の活動の効果で、多くの子供たちに『地球環境の保護のために自分たちは何をしなければならないか』をしっかりと身につけていけるようにいたします。</p> <p>また、新規会員の加入を進め、ベテラン会員のスキルを学ぶ場を設け、会の活動の継続と発展を図ります。</p>
<p>事業への想い  (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)</p>	<p>今年度は実施できなかった熊本市や環境工場（クリーンセンター）が主催する環境フェアへも積極的に出展し、関係する多くの団体との連携とコラボレーションを図るとともに、体験学習、伝統文化の体験の場を提供することで各地域の子供や大人の方々のコミュニケーションを深め、地域住民の環境に対する意識向上に貢献します。</p> <p>その結果、伝統と自然を愛する心豊かな熊本市民による、大きな自然災害を乗り切ったエネルギーあふれる熊本市の未来に向けた発展の一助になりたいと思います。</p>